

第31回都市公園等コンクール（一社）日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

設計部門

受賞作品：湖山池ナチュラルガーデン “とっとり晴れやか庭園”
対象施設：湖山池公園
所在地：鳥取県鳥取市
受賞団体：株式会社空間創研
 有限会社ガーデンルームス



平成25年度に鳥取で開催された第30回全国都市緑化フェアのメインガーデンの設計である。1.0haの面積に200種30,000株の宿根草、多年草、球根類が植栽され、そのうち9割が鳥取県で自生している植物を使用した郷土の庭園であり、そのデザインが工夫されていることや、湖山池の景観を最大限に活かし取り入れた風景づくりが評価された。

設計部門

受賞作品：品川シーズンテラス
対象施設：品川シーズンテラス
所在地：東京都港区
受賞団体：大成建設株式会社一級建築士事務所
 株式会社NTTファシリティーズ
 NTT都市開発株式会社



品川地域における、都市環境を充実する新たな公共空間の形成を目指した緑地広場の設計である。地域間のまたがる住民コミュニティの新たな拠点として、涼風を導く風の森や芝生が広がる人工地盤上の広場空間、人の流れを促す都市のプロムナードを有し、東京タワーなどを見通すビスタの形成などの設計が評価された。

施工部門

受賞作品：白井総合公園広場エリア整備工事
対象施設：白井総合公園
所在地：千葉県白井市
受賞団体：西武造園株式会社
 独立行政法人都市再生機構
 首都圏ニュータウン本部千葉業務部



白井総合公園にある広大な芝生広場、見晴らしの丘、健康と遊びの広場、生き物たちの林などから構成される広場エリア(4.1ha)の施工である。施工における景観軸と景のひろがりへの配慮、植生の保全再生、曲線美と利用のしやすさに配慮した園路、良好な生育のための植栽への配慮、大面積芝生広場の良好な排水への配慮等丁寧な施工が評価された。

第31回都市公園等コンクール（一社）日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

材料・工法・施設部門

受賞作品：すくすくランド
対象施設：中勢グリーンパーク
所在地：三重県津市
受賞団体：内田工業株式会社



「すくすくランド」は、公園に来るお母さんたちの「安心して3歳未満の子どもたちが遊べる専用スペース」がほしいという声から生れた。公園などにおける3歳未満児とその保護者のための「守って」「楽しく」「すくすく育つ」をコンセプトにした「子育て支援」空間を目指し制作・施工されたことが評価された。

材料・工法・施設部門

受賞作品：大型遊具(難破船)
対象施設：兵庫県立赤穂海浜公園
所在地：兵庫県赤穂市
受賞団体：タカオ株式会社



赤穂海浜公園の大型遊具（難破船）の再整備である。設置して28年経て老朽化や現在の安全基準を満たさないことなどから大規模な更新が必要とされた。更新にあたっては「公園のシンボル」としての継続的な利用も望まれていたことから、全てを破棄するのではなく使用できる材料は有効に活用し、耐久性に優れた材料を適材適所に使い分け制作された。安全性の向上や機能を追加しつつ、全体コストを抑えながら制作されたことが評価された。

管理運営部門

受賞作品：森づくりガイドラインを活用した
生物多様性・安全性の森づくり
対象施設：市全域の緑地
所在地：奈川県横浜市
受賞団体：横浜市環境創造局



横浜市のまとまった樹林を対象とした「横浜市森づくりガイドライン」「保全管理計画」による維持管理（森づくり）である。これにより森づくりを担う市民と協働した維持管理が進められているとともに、手入れされた森ではガイドブックの作成やイベントの実施により、利活用を増進し広く市民に森の魅力を伝えていることなどが評価された。

第31回都市公園等コンクール（一社）日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

管理運営部門

受賞作品：岐阜市畜産センター公園 指定管理者
対象施設：岐阜市畜産センター公園
所在地：岐阜県岐阜市
受賞団体：昭和造園土木株式会社



畜産センター公園の東側の家畜の飼育を行う「畜産施設」と西側の自然に親しめる「憩いの施設」という2つの性格を有する施設を一括管理している管理運営である

親子参加の催し物や女性を対象とした催しの充実による利用促進効果や地域社会との連携策等により、利用者の拡大や催し物等が活性化・多様化していることが評価された。

特定テーマ部門

（歴史的・文化的資源と一体となった都市公園等の整備、管理運営）

受賞作品：吉野ヶ里遺跡の邪馬台国時代における
位置づけを探る企画展の開催
対象施設：国営吉野ヶ里歴史公園
所在地：佐賀県吉野ヶ里町
受賞団体：一般財団法人公園財団



国営吉野ヶ里歴史公園の管理運営の一つである吉野ヶ里遺跡の歴史性と保存の意義をより深く理解してもらうための特別企画展である。貴重な遺物の展示、歴史的・文化的考察や検証体制の確立、専門職による企画立案さらに展示方法の創意工夫により、吉野ヶ里ブランドの価値の向上や満足度の向上及び公園利用者数の増加などが評価された。